

# 第14次労働災害防止計画

— 向島労働基準監督署 —

労働災害防止計画とは、労働災害を減少させることを目的に、国が取組む事項を定めた計画であり、厚生労働大臣が策定した14次の「労働災害防止計画」を踏まえて、東京労働局では「第14次東京労働局労働災害防止計画」を定め、「トップが発信！ みんなで宣言 一人一人が「安全・安心」」をキャッチフレーズとして、計画達成（労働災害の減少）を目指します。

当署としても、「第14次東京労働局労働災害防止計画」を踏まえて、事業場における自主的な安全衛生活動を通じて

- ① 労働災害防止活動を推進し、労働災害を着実に減少させる
- ② 労働者の健康確保対策と快適な職場環境の形成を図る

を目的に、事業者や関係団体等の協力を得ながら管内の安全衛生水準の向上に努めていくこととします。

## 当署の現状と課題

労働災害による被災者数：令和4年

- 死亡者数：2人
- 死傷者数：497人（新型コロナウイルス感染症による死傷者数を除く）

・労働災害による被災者数は過去5年間にわたり増減を繰り返しており、460～490人台で推移していますが、陸上貨物運送事業、第三次産業（特に小売業、社会福祉施設、飲食店、警備業）では増加傾向にあります。

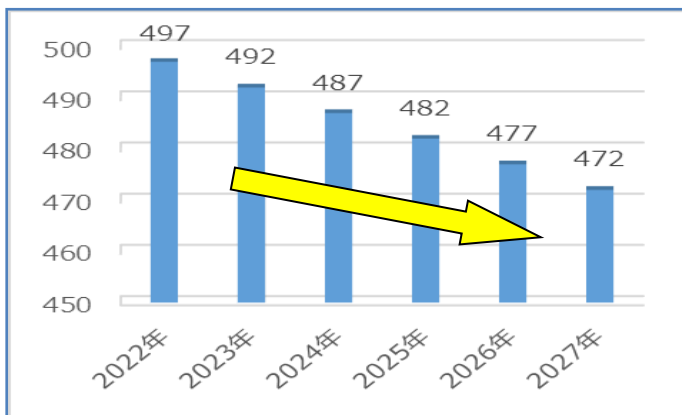
## 計画の期間

2023年度を初年度として2027年度までの5年間。

## 計画の目標

### 死亡及び死傷災害の着実な減少

○2027年までの間、死傷災害を経年的に減少させる目標の数値を以下のとおり設定する。



- ① 期間中の死亡災害の目標（2027年）  
**ゼロ**
- ② 期間中の死傷災害の最終目標（2027年）  
**472人以下**

※東京労働局14次防計画で示しているアウトカム指標達成を目指した場合の期待目標に向けて設定した目標数値とする。

・死亡災害・死傷災害ともに、2022年と比較して2027年までに5%減少（当署では死亡災害はゼロを目指す）。

\* 計画の達成を目指し、東京労働局の労働災害防止計画に示す取組を積極的に推進していきます。



～トップが発信！ みんなで宣言 一人一人が「安全・安心」～